

伊方議会だより

Ikata Town Pareliament Public Relation

2025

12

Vol.82

令和7年10月1日～3日 行政視察(大阪府・兵庫県)



大阪府岬町役場



三菱重工業株式会社神戸造船所

目次 -Contents-

P 2～4

9月定例会の動き

P 4～5

一般質問

P 6～7

研修レポート

P 8 委員会(協議会)報告

P 9 議長の動き

9月定例会の動き

令和7年9月9日～17日

第82回定例会が開催され、報告2件、条例3件、契約3件、決算認定8件、補正予算4件、その他8件は、いずれも原案のとおり可決・認定・同意されました。

【主な決定事項】

報告

令和6年度伊方町の財政の健全化判断比率及び資金不足比率

令和6年度決算における本町の財政状況を地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する比率で示し、健全な状況にあることを報告。

令和6年度伊方町の教育に関する事務の点検・評価報告書の提出

令和6年度における本町の実態を地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づいて評価・点検し、概ね良好な状況にあることを報告。

条例

伊方町議会議員及び伊方町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定

選挙運動用ビラ及びポスター作成に係る公費負担限度額の引き上げ。

伊方町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定

「妊娠又は出産等についての申出があった場合における措置等」及び「配偶者等が介護を必要とする状況に至った職員に対する意向確認等」並びに「勤務環境の整備に関する措置」に係る規定の整備。

伊方町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定

新たな部分休業制度に関する条例委任事項、部分休業の取得パターンの多様化。
パートタイム会計年度任用職員の取得対象要件の緩和。

請負契約

四ツ浜（川之浜）漁港防波堤改良工事（その2）請負契約の締結

契約金額 121,550,000円 契約の相手方 藤川建設有限会社

三崎小中学校体育館改修工事請負契約の締結

契約金額 143,000,000円 契約の相手方 堀田建設株式会社伊方支店

伊方中学校体育館改修工事請負契約の締結

契約金額 97,900,000円 契約の相手方 株式会社岡崎工務店

決算認定

令和6年度伊方町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定

令和6年度伊方町一般会計及び5特別会計歳入歳出決算を認定（決算内容は広報11月号に掲載）。

補正予算

（単位：千円）

会計名		補正額	補正後
一般会計補正予算（第3号）		370,228	12,320,288
介護保険特別会計補正予算（第2号）	保険事業勘定	8,060	1,588,547
	介護サービス事業勘定	88	14,236
水道事業会計補正予算（第2号）	収益的支出	19,154	430,992
下水道事業会計補正予算（第2号）	収益的支出	508	407,432

漁業燃油・飼料高騰対策支援事業

漁業用燃油及び養殖用配合飼料の価格高騰による漁業経営への影響緩和のため、漁業者に対して燃油及び配合飼料費上昇分の一部を支援。

対象期間 令和7年1月1日～12月31日購入分

対象者 ①漁業経営セーフティーネット構築事業加入者
②令和7年度新規加入者

支援額 ①構築事業の積立金取崩額の1/3以内
②使用実績×自己負担補填単価×1/3以内

八幡浜施設事務組合消防事業負担金

伊方消防署建設事業費の増に伴う負担金増額。



伊方消防署完成予想図

三崎高校教員住宅整備工事

三崎高校教員の町内居住を促進することを目的に、愛媛県と共同で老朽化した高校教員住宅を改修（4棟/9戸分）。

総事業費 50,050千円×1/2 = 25,025千円

町民グランド実施設計業務委託

伊方町民グランドに係る管理棟及び男子更衣室の既存施設の改修やテニスコート観客席、防球ネット、屋根付きベンチ等の整備についての実施設計。

その他

議員派遣の件

場所：大阪府岬町

目的：ふるさとへの愛着及び誇りを高め住み続けたいなるまちづくり、安心して子どもを産み育てることができる子育て環境づくり、産業誘致及び就労機会拡大等の地域産業活性化支援等による人口減少抑制定住施策並びにマイクロツーリズム等交流施策に関する調査。

伊方町名誉町民の選定

伊方町出身者としてノーベル物理学賞を受賞し、広く社会、産業の進展に偉大な貢献をされた功績が特に顕著である中村修二氏の功績をたたえ、顕彰。

議員の虚偽公表等に関する事項

令和7年6月27日に事件の調査を目的に設置された議員の虚偽公表等対策特別委員会は、書面調査並びに町の関係課長及び田村義孝議員に対し実施した説明聴取の結果、田村義孝議員が事実確認を怠ったことなどにより、有権者の投票行動に影響を与えかねない政治活動ビラ及びSNSに虚偽等の記載をしたことを確認。

田村義孝議員の虚偽公表等に対し猛省を促すとともに、議員としての責任を強く問う委員長報告。

田村議員が演壇にて、謝罪。

謝 罪

令和7年9月17日

田村 義孝

私は、有権者の投票行動に影響を与えかねない政治活動ビラ及びSNSの投稿に一部、虚偽の記載をいたしました。

議会の品位を保持すべき議員の職責を鑑みますと、私の甚だ不適切な行為は、議会の品位を貶め、議会に対する町民からの信頼を損なう事態を招くこととなりました。

ここに深く反省し、議会の皆様、町民の皆様、及び関係者の皆様に対しまして誠意を披瀝して、衷心より、お詫び申し上げます。

今後、私は、自らを律して、議員としての職責と立場を十分に認識し、信頼回復に努め、二度とこのようなことのないよう自戒のうえ、公人として責任を持った行動をすることを約束いたします。

誠に、申し訳ございませんでした。



議会運営委員会の閉会中の継続調査

議会改革特別委員会の閉会中の継続調査

観光事業対策特別委員会の閉会中の継続調査

原子力発電対策特別委員会の閉会中の継続調査

公共施設環境改善対策特別委員会の閉会中の継続調査

一 般 質 問

答

佐田岬半島ミュージアムにおいて多くのの方に戦争の悲惨さ、平和の尊

問 8月15日は、終戦80年である。旧瀬戸町三机には、特殊潜航艇による真珠湾攻撃で戦死した9人を祀った、九軍神慰霊碑があり、令和3年には日本人捕虜第1号である故酒巻和男氏を加え、10人全員の石碑が建立された。

知覧特攻平和会館、大和ミュージアム大刀洗平和記念館、紫電改展示館等、それぞれの市町が運営し、後世に平和教育を伝承している。三机も、継承できる第一級の資料等が残されているため、小型特殊潜航艇等のレプリカを再現し、残された戦争の痕跡を佐田岬半島ミュージアムに常設展示して、日本人としての平和教育と、国のあるべき姿を考察する場を提供するべきであると思うが、どのように考えているか。

問

大綱1 平和教育と佐田岬半島ミュージアムの活用について



末光勝幸 議員

質問の全文はQRコードを読み込んで確認できます



さなどを伝える企画展を開催し、特殊潜航艇に関する資料も展示している。

太平洋戦争開戦時に特殊潜航艇でハワイ真珠湾攻撃に参加した方々が、それ以前に当町三机湾で訓練を実施していたことから九軍神ゆかりの地とされている。

特殊潜航艇やその乗員に関する資料等は太平洋戦争の記憶や教訓を継承する大切なもので、町内の中学生は、平和学習の一環として須賀公園等を訪れ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを学んでいる。

九軍神の慰霊碑は、遺族の方が昭和40年に三机地区を訪れたことを機に、昭和41年に慰霊碑を建立し、毎年12月8日に開催される慰霊祭等も有志の方々を中心に行われている。

特殊潜航艇や乗組員の方々に関する資料はいずれも貴重なもので、関係資料の散逸を防ぎ、収集や保存をしていくことは重要であり、今後行っていく必要がある。

特殊潜航艇のレプリカの製作や資料等の常設展示は、特殊潜航艇は長さ約24mと大きく、経費もかなりの額が予想され、現在の佐田岬半島ミュージアムでは難しい。

今後は、企画展等で、特殊潜航艇や九軍神、もう1人の乗組員の方に関する資料等を展示し、佐田岬半島ミュージアムを訪れた方に、平和のメッセージを伝えていきたい。

また、他の佐田岬半島に残る戦争遺産も含めて、どのように保存し、広く発信していくのか、検討していきたい。(教育長)

一般質問

田村 義孝 議員



本文は、
QRコードを
読み込んで
質問の全文を
確認できます



大綱1 「伊方町総合計画」について

問

まちづくりに関するアンケート調査の結果、中学生は、前回と比べて「伊方町への愛着度」は若干の減だが、「伊方町に住み続けたい、戻ってきたい」は前回より5%アップしている。災害時の孤立対策、また防災統括監の設置による避難計画の実効性を高め地域の共助の体制を強化しているが、予想以上に人口減少が進んでいる。

1 第2次総合計画の後期基本計画の総括について。

2 「防災・減災」「移住・定住」の取組みの効果と今後の施策について。

3 人口減少の今後の対策について。

答

1 町では、現行の後期基本計画に掲げている具体的な主要事業に対して、職員が進捗率や主な成果・課題など

次期計画を見直すための評価を行った。大きな基本目標ごとに評価した結果、「保健・医療・福祉」「産業・観光」「教育・スポーツ・文化」「住民協働・行財政」の分野は概ね計画通り、「社会基盤」「防災・減災」「移住・定住」の分野はやや遅れており、計画全体では73・75点と評価している。

私なりに振り返ると、「人口減少対策」においては、定住促進奨励金や奨学金返還支援、子育て応援や町有施設への企業誘致住宅の確保等。「災害対策」においては、家庭用備蓄のための補助制度や老朽空き家解体補助制度の創設の他、ヘリポートの整備また、四国電力に対する伊方発電所の安全運転の指導等。「医療・福祉」においては子ども医療費助成や出産子育て交通費助成、グループホームの整備や障害児通所支援施設の誘致等。「社会基盤」においては生活道路や避難道路、漁港施設の整備等。「産業・観光」においては、西宇和農協広域選果場整備への支援や瀬戸アグリトピアの改修、佐田岬はなはなの整備や亀ヶ池温泉再建等。「教育・スポーツ」においては、高校生の通学支援や学校給食費の半額補助佐田岬半島ミュージアムの整備等。「住民協働・行財政」においては、DX政策の他、人権尊重の町づくり条例の制定等を展開し、一定の効果があつたと感じている。

しかし、人口減少に歯止めがかからない状況から、次期計画では移住・定住に関する新たな施策や医療体制の更なる充実、農

水産業の担い手確保等、また災害対策における住民意識の向上や事業の見直し等を行い、住民が「住み続けたい」「戻ってきたい」と思える住環境づくりと町の規模に応じた適切な方向性を定めていきたい。

2 取組みの効果は1でお答えしたとおり。

今後の防災・減災への取組みとしては防災統括監を中心に南海トラフ地震への備えや消防団の確保、自然災害、原子力災害を想定した避難手段の確保や避難所環境の充実等、また防災訓練等を通じて更なる対策を講じていく必要がある。

移住・定住については、空き家バンクの充実強化や子育て世帯への支援等に加え新たに二地域居住地として選ばれるまちを目指す等、関係人口の増加に取組む必要がある。

3 更なる子育て支援や教育支援等を充実させる必要がある。

また、町に適した地域公共交通体制の構築や既存の公共施設のリニューアルや転用災害時の避難ルートの確保や観光業の活性化、町内での雇用の場の確保等の施策を講じる他、本町が持つ豊かな自然や人情味溢れる住民等、地域資源を活かし、町外から戻ってきてもらえるまちを目指し、新たな総合計画を策定したい。

(町長)

研修レポート —第1回町議会議員研修会—



阿部 孝志 議員

団法人地方公共団体政策支援機構の渡辺太樹上席研究員が講師をされました。

住民の声↓地域課題↓総合計画↓施策・政策↓予算↓決算↓検証という議会におけるサイクルの中で「総合計画、政策、施策に反映されているか。持続可能な発展のための政策はできているのか」と事前検証をし「予算は正しくつけられているか。効果はあったのか」と事後検証をしていく、これを数字で可視化して政策の課題を解決していくことを学びました。

町民意思を反映し、必要性や効果を質し、町の継続的発展のためにお金は使われているか、それを考えるのが予算・決算審査の本質ですので、今後もしっかりと検証していきます。

次に「自治体議員のコンプライアンス」という演題で、弁護士の帖佐直美氏が講師をされました。

コンプライアンスとは「法令遵守」を意味しています。ただし単に「法令を守れば良い」というわけではありません。現在、求められている「コンプライアンス」とは、法令遵守だけでなく、倫理観、公序良俗などの社会的な規範に従い、公正・公平に業務を行うことを意味しています。

我々議員に求められているコンプライアンスは、選挙で選ばれて公職に就いているということは「良識の人」であると町民が認めた人だということを自覚し、また、町民の模範として行動することが期待されているという意識を持ち続けることだと思いました。改めて身を引き締めて精進していきます。



令和7年度第1回町議会議員研修が8月8日（金）ANAクラウンプラザホテル松山で開催されました。上島町議会議員長の前田会長長の挨拶で始まり、研修会に入りました。

最初に「議会が行うべき予算・決算審議について」という演題で、一般社



田村 義孝 議員

ANAクラウンプラザホテル松山にて一部では一般社団法人地方公共団体支援機構の渡辺太樹先生から、議会が行うべき予算・決算審議について、二部では弁護士の帖佐直美先生から、自治体議員のコンプライアンスについて学びました。

一部では、総合計画と連動して個々の施策の効果が上がっているなら拡充していくのか、うまくいっていないなら、改善の余地はあるのか、続けるのか、止めるのかという視点がとても深い学びとなりました。財政を捉える着眼点として、①構造を知る、②視点を定める、③問いを立てるという俯瞰して把握するということを学び、9月定例会の一般質問では、総合計画に沿った質問を行いました。引き続き学びを実践して、町民の皆様の福祉の向上、町政の発展に努めてまいります。

二部では、①議場での注意点、②議場の外での注意点、③ハラスメントについて、個別具体的に法律を学びました。

①議場での注意点で驚いたのは、国会議員は議院で行った演説・討論又は表決について、院外で責任を問われないのに対し、地方議会議員については、地方議会についても国会同様の議会自治・議会自立の原則を認め、更に、地方議会議員の発言についてもいわゆる免責特権を憲法上保障しているものと解すべき根拠はないという最高裁の判例があることです。会場から、自由で活発な議論のために国会議員と同じに地方議会議員もすべきとの声もあり、私もそれが望ましいと感じました。

②議場の外での注意点、③ハラスメントでは、各条文から注意点を学び、世の中の流れや変化を真摯に受けとめながら、法令を遵守して議員活動を行っていくかなければと再度、思いを新たにしました。

日々の情報収集や勉強の成果を、政策として、議会での提言や提案に結実させていけるように、引き続き頑張っていきます。



研修レポート —行政視察—



安堂 廣道 議員

令和7年10月1日から3日間の行政視察初日は、大阪府泉南郡の岬町に視察研修に行かせていただきました。

岬町は人口1万4,181人の大阪府最西端の町です。面積の80%が山地で、近隣の和歌山県と接している位置にあり、大阪市内まで概ね50km、電車で50分、和歌山市まで概ね10km、電車で10分だそうです。

岬町には、大阪湾ベイエリアの中で唯一の自然海岸が2箇所あり、関西空港、明石海峡大橋、紀淡海峡を見ながら歩ける水際道路があり、人と自然との関わりが求められるこれからの時代にあったまちづくりを推進する地域と思えました。

令和7年度の主要事業としては、町政70周年記念式典の開催、給食は令和6年度に小学校、令和7年度に中学校を無償化、また、物価高騰化における町民の家計負担軽減を図るため、全世帯を対象に1世帯あたりお米券を10枚（4,400円相当）配布、遠距離通学支援事業など、住みよいまちづくり、暮らしやすいまちづくりを行っているように思えました。また、岬町内にある道の駅は、年間100万人を突破し、品数の多さ、漁獲類の価格の安さに驚きました。

最終日には三菱重工神戸の工場見学に行き、最初に三菱重工の会社概要の説明を聞き、会社の大きさに驚きました。エナジー、プラント、インフラ、物流、冷熱、ドライブシステム、空港、防衛、宇宙など多様な製造に携わり、今回の議員研修では四国電力より発注の輸送・貯蔵兼用乾式キャスク32体の作成状況の見学やキャスクの形状説明がありました。議員からの質問等について一つ一つ答えていただき、このキャスクなら大丈夫かなと思った次第です。それと一人一人の原子力発電所の安心・安全への思いが技術の向上を生み出しているなと思いました。

研修を終えて、原子力発電所立地町として、内ごとにも安全ではならない、また、伊方町として、住みよいまちづくりをしていかなければならない等、色々勉強になりました。



三菱重工神戸造船所



加藤 智明 議員

10月1日に訪れた大阪府泉南郡岬町は人口約1万4千人、漁業が盛んで、都市近郊ですが、令和3年に過疎地域に指定された町です。

道の駅「みさき夢灯台」は昨年度100万人超えの来場者を迎え、物販はお土産品に加え、地元漁港の新鮮な魚介類が並び、滞在時間の延長や地域消費に大きく貢献していると感じました。

「とっとパーク小島」は桟橋を活用した海釣り公園で、年間約4万人が訪れ、売上はおよそ9千万円。伊方町の釣り客に関する課題の参考にとできると思いました。また、土砂を利用した「いきいきパークみさき」は広場やスポーツ施設、子ども向け遊具、植樹帯を備え、住民の憩いと交流の場やイベントの拠点としても活用され、町の暮らしに彩りを添えていると感じました。

労働面では、最低賃金の差を背景に、和歌山側から働きに来ている人々が地域の労働力に寄与していることが印象的でした。

更に大阪府立青少年海洋センターは、宿泊や研修、スポーツ施設も整い、学校団体や地域住民に広く利用されていました。四国には同等の施設がなく、伊方町に導入できれば瀬戸アグリトピア、亀ヶ池温泉との連携によって安定した集客が期待できると感じました。

最終日は、兵庫県神戸市にある三菱重工神戸造船所を訪れ、広大な敷地に巨大なドックや組立工場が並び立ち、数千t級の艦艇やプラント機器を一体で製造ができる、産業の力強さを肌で感じました。この造船所は1905年の創設以来、戦前は艦艇や商船を建造し、戦後は車や冷蔵庫等の家電製品から大型プラントや発電設備を製造。更に、原子炉圧力容器や蒸気発生器といった原子力一次系機器の製造にも取り組み、国内外で高い評価を得ており、四国電力も伊方発電所向けに、乾式キャスクを発注されているとのことでした。乾式キャスクの製造工程は、ほぼ全てロボットによる組立、溶接等により1つのドック内で完結する効率的な体制が整っていました。

造船から原子力機器、そして、宇宙関連へと広がる製品群の変化と進化の歩みは、まさに、時代に合わせた製品づくりを体現しており、日本の産業の底力を改めて実感する機会となりました。



大阪府泉南郡岬町役場

委員会（協議会）報告

月 日	委員会（協議会）	概 要
8月26日	議会運営委員会	1. 第82回定例会の運営について
9月2日	議員全員協議会	1. 伊方消防署新築工事等の進捗状況について 2. 伊方町第3次総合計画等策定の進捗状況について 3. 伊方町過疎地域持続的発展計画の策定について 4. 令和6年度伊方町の財政の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 5. 伊方町園芸施設の運営について 6. 四ツ浜（川之浜）漁港防波堤改良工事（その2）請負契約の締結について 7. 伊方町集会所の指定管理について 8. 令和6年度伊方町の教育に関する事務の点検・評価報告書について 9. 三崎小中学校体育館改修工事請負契約の締結について 10. 伊方中学校体育館改修工事請負契約の締結について 11. 三崎高校教員住宅整備事業について 12. 伊方スポーツセンター指定管理者の募集について 13. 佐田岬半島ミュージアムのテナントについて 14. 伊方町民グランドの実施設計について 15. 伊方町体育施設の改修について 16. 条例の制定等について 17. 令和7年度伊方町一般会計補正予算（第3号）概要
	議員の虚偽公表等対策特別委員会	1. 議員の虚偽公表等対策について
	総務文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会	1. 令和6年度一般会計及び特別会計決算審査（合同常任委員会）
9月12日	議員の虚偽公表等対策特別委員会	1. 議員の虚偽公表等対策特別委員会に付託された件について
	議会運営委員会	1. 第82回定例会の運営について
10月17日	議員全員協議会	1. 伊方町合併20周年記念式典・名誉町民証授与式について 2. 令和7年度伊方町一般会計補正予算（第4号）概要 3. その他 議員の交通事故について

議長の動き（主な内容）

8月	8日	県町村議会議長会第2回正副会長会（松山市） 第1回町議会議員研修会（松山市）
	15日	愛媛県戦没者追悼式（松山市）（副議長代理出席）
	19日	伊方原子力発電所環境安全管理委員会（松山市）
	21日	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会定例会（大洲市）
	22日	県町村議会議長会第1回全員協議会（松山市）
	28～29日	第15回全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会（東京都）
9月	8日	八幡浜地区施設事務組合議会臨時会（八幡浜市）
	13日	伊方町二見温泉まつり（副議長代理出席）
	25～26日	四国四県町村長・議長大会（高知県）
10月	1～3日	行政視察研修（大阪府・兵庫県）
	8～9日	第63回四国地区町村議会議長会研修会（松山市）
	30～31日	第51回愛媛県中央集会（東京都）

令和7年9月13日 伊方町二見温泉まつり



令和7年10月1日～3日 行政視察





町内の小学校3年生が 町内めぐりで議場を見学しました

瀬戸・
三崎地域



伊方地域

※議場改修工事中により、廊下側からの議場見学のみとなりました。